

ワークショップ「溶存有機物をめぐる最新の知見と高度浄水処理技術の展開」のご案内

日本水環境学会では、水源水質に関する最近の知見と、浄水処理技術に関する実務や施設更新などの課題について、互いに議論ができる研究委員会として、「将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会」（略称：将来の水システム研究委員会）を平成 29 年 4 月に設置いたしました。これにともない、下記のキックオフワークショップを開催いたします。本ワークショップでは、水源水質の傾向や有機物の分析技術などに関する最新の知見を共有すると共に、主に関東地方において高度浄水処理を導入している水道事業体に、高度処理の現状や将来の更新の必要性・計画などについてご紹介いただきます。

○主催 水環境学会 将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会

○期 日 2017 年 7 月 11 日（火）13:00-17:00

○場 所 東京大学本郷キャンパス工学部 14 号館 141 号室（東京都文京区本郷 7-3-1）

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.html

○プログラム

<趣旨説明> 滝沢智（東京大学/将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会委員長）

<基調講演> 福島武彦（茨城県霞ヶ浦環境科学研究センター/筑波大学名誉教授）

「湖沼水環境の将来：レジームシフト、気候変動、新環境基準」

<溶存有機物研究の新展開>

1. 小松一弘（国立環境研究所）「湖沼水中有機物の特性評価：量から質、ストックからフローの解析へ」

2. 春日郁朗（東京大学）「精密質量分析計を活用した湖沼溶存有機物の分子レベルの評価」

3. 吉村千洋（東京工業大学）「沿岸域における溶存有機物と溶存鉄の動態：志津川湾の事例」

4. 伊藤禎彦（京都大学）「水中有機物の除去と浄水処理プロセスの合理的選択」

討議 司会：小熊久美子（東京大学）

<水道事業体における高度浄水処理プロセスの現状と今後の施設更新>

5. 検討中（東京都水道局）高度浄水処理に関するテーマ（仮題）

6. 伊藤睦雄（茨城県企業局）「高度浄水処理に関するテーマ（仮題）」

7. 検討中（千葉県水道局）高度浄水処理に関するテーマ（仮題）

討議 司会：滝沢智（東京大学）

○参加申込み方法 申込サイト（<https://goo.gl/forms/ruObSAIEMpkteqVr2>）に必要事項を記入の上、2017 年 6 月 30 日（金）までにお申し込みください。

○参加費 無料

○懇親会 ワークショップ終了後に会費制の懇親会を予定しています（場所：東京大学、会費：未定）

○お問い合わせ

水環境学会 将来の水環境変化に対応した水供給システム研究委員会（担当幹事 春日郁朗）

委員会ページ：https://www.jswe.or.jp/aboutus/research/research_23/index.html

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

電話：03-5841-6263 FAX：03-5841-6244

e-mail：kasuga@env.t.u-tokyo.ac.jp